

# 阿寒中学校 授業心得

1. 学習用具は、休み時間中に机の上に出しておく。
2. 忘れ物がある時は、授業が始まる前に教科の先生に言う。
3. チャイム前に着席し、先生が来るのを静かに待つ。
4. 始まりと終わりの挨拶は元気よく！
5. 返事や発言・発表は元気よく！
6. 勝手に立ち歩かない。座席を移動しない。
7. チャイムが鳴るまで廊下に出ない。
8. 特別教室への移動は休み時間中に済ませる。

## 持ち物について

1. 持ち物には必ず記名すること。
2. ノートについて  
ルーズリーフではなく大学ノートを使用して下さい。  
○理科は授業用、ワーク用の2冊用意しましょう。ドット入りがおすすです。  
○社会は分野ごとにノートを用意しましょう。  
○英語は英語用の段のノートを用意しましょう。  
○国語は大学ノートを用意しましょう。
3. 文具・筆記具について  
鉛筆（シャープペンシル可）、ボールペン（赤・青・黒）、蛍光ペン（2～3色）、  
定規  
※その他の持ち物は各教科の指示に従ってください。
4. 問題集について  
ワークは学校で選択し、購入してもらったものを持ってきました。  
※ 国語・数学・理科・英語の授業では、授業または宿題としてワークを使います。  
そのねらいは『学んだことのまとめ＝学んだことを定着させる』ことです。

## 授業の実践

はじめに・・・

- まずは「やりなさい」。  
「わからない」生徒には教えますが、「やらない」生徒はどうしようもない。
- 「わかった」ことは、周りにもどんどん教えてあげなさい。  
後でおまけがついて返ってきます。

### 1. 板書について

- 学習日・学習の課題を書きましょう。
- ノートは素早くキレイに丁寧に書き写すこと。
- 習った漢字は使うようにし、漢字の間違えに気をつけましょう。
- 問題を解いたとき、理解するのに苦労したものについては、自分なりにやり方を書き込んだり、疑問や豆知識など、いろいろノートにメモして、自分だけのオリジナルノートを作りましょう。

### 2. 聞き方について

- 先生が話を始めたら、先生の方に体を向け、しっかり聞きましょう。
- 授業で私語はしない（教えあうのは大いに結構ですが、説明中を避ける）

### 3. 発言について

- 小さな『なぜ？』を大切にしましょう。わからないことは授業でどんどん質問しましょう。→恥ずかしがり屋の人は授業が終わってからもOKです。分からないことがあれば、先生に質問し、その日のうちに解決しよう。
- 『受け身』の授業では学力は身につけません。発言・発表する場面では積極的に自分の考えを発表し理解を深めましょう。
- 質問には積極的に答えましょう。

### 4. 問題の解き方

- 問題は自分の力でやること。わからない場合は教科書やノートで調べる。解き終わったら、見直しをしましょう。
- 考える問題はあきらめずにいろいろな方法を駆使して考えましょう。

### 5. テスト・ワークシートについて

- 先生が解読できる字を書きましょう。自分が読めても他人が読めなければだめです。

### 6. 提出物について

- 提出物の期限を守ること。「出てませんよ～」などといちいち親切には教えません。

# 国語科 学習の手引き(授業編)

## 1. どのようなことを学ぶか

「国語」は、生涯にわたってみなさんが使用していく言語であり、全ての学習の基本である「日本語」について深く学んでいく教科です。

- ★読むこと 一様々な文章の内容を素早く正しく理解する(読み取ったことを「インプット」)
- ★書くこと 一読み手に、表したい事柄や自分の思い・主張が伝わる文章を書く(「アウトプット」)
- ★話す・聞くこと 一相手と正しく通じ合えるよう話す・聞く術(すべ)を身に付ける
- ★言葉についての知識 一自分の知っている言葉の幅と深さを広げ、自己表現を磨いていく

## 2. 授業での約束

- ・「話し手(先生や学級の仲間)」に顔・目・耳・心に向けて、最後までしっかりと「聴く」。
- ・「わかったこと」「考えたこと」「質問してみたいこと」があれば積極的に手を挙げ発言する。
- ・全員に聞こえる声で発言したり、音読したりする。
- ・忘れ物をしてしまったら、必ずその時間の前の休み時間までに、自分から申し出る。
- ・プリントやワークシートをノートに貼る時には、こちらから指示します。  
ノートの取り方は、最初の授業で説明します。

## 3. 持ち物は

- ・教科書
- ・ノート
- ・ワーク
- ・のり(プリントやワークシートを貼るため)

## 4. 評価について

### 【参考資料】

観 点	到達目標の例	評 価 材 料
知識・技能	☆伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて書く技能を身に付けている	☆各種テスト等 ☆ワークシートの記述等 ☆書写作品等
思考・判断・表現	☆目的や場面に応じ、適切に話したり聞いたり話し合ったりして、自分の考えを豊かにすることができる。 ☆相手や目的、意図に応じ、筋道を立てたり、論理の展開を工夫したりして、説得力のある文章を書くことができる。 ☆目的や意図に応じ、様々な文章を読んだり読書に親しんだりして、自分の考えを豊かにすることができる。	☆各種テスト等 ☆ワークシートの記述等 ☆発表活動(スピーチ等)等 ☆グループワーク等 ☆作文等
主体的に学習に取り組む態度	☆知識及び技能を習得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けるために、自分の学習を調整しながら、学ぶことができる。	☆課題等に取り組む様子(授業観察) ☆各種テスト等 ☆宿題、ワークシート記述等

【書写の授業について】 小学校の時の習字セットは使いますので大事にとっておきましょう。使用する時期と持ってくるものは、事前にこちらから連絡します。

# 社会科 学習の手引き(授業編)

## 1. 学習のすすめ方

○教科書・ノートと地理のときは地図帳を持ってきましょう。

○どの学年も、2つの学習分野を交互に学習します。学習分野が変わる時は先生から指示があります。

## 2. 成績がアップする勉強法

(1) 新聞やニュースに興味を持とう！これが一番の近道です。

→授業で学習した内容が身のまわりにたくさんあふれているのが社会科の特徴です。

(2) 小さな疑問や興味のあることは深く調べてみよう！

→インターネットが発達した現在、検索手段はとても広がっています。興味のあることを調べるのにどんどん活用しましょう。

(3) 『丸暗記』は役に立ちません。言葉の意味やできごとを理解しながら学習を進めましょう。

【資料】『観点別評価』の評価材料

観 点	到 達 目 標 の 例	評 価 材 料
知識・技能	☆学習内容について習得すべき知識(例…重要語句)・技能(資料の読み取り・活用方法など)を理解しているか、	☆定期テスト ☆単元テスト ☆授業観察
思考・判断・表現	☆教科書や資料等を使い、自分なりの考えを持ち、表現することができる。	☆定期テスト ☆単元テスト ☆授業観察 (ノートへの記入内容)
主体的に学習に取り組む態度	①「知識・技能の獲得、思考力、判断力、表現力を身に付けるため粘り強い取り組みを行おうとする側面」 ②「自らの学習状況(到達状況)を把握し、学習の進め方について試行錯誤しながら自らの学習を調整できている側面」…「よりよく学ぼう」という側面	・単元ごとの自己評価(①・②) ・単元テストの成果(②) ・ノートの記入内容(①) ※その他、授業を受ける態度やワークシートの記述などをみて評価を加味することができます。

# 数学科 学習の手引き(授業編)

## 1. どのようなことを学ぶか

- 「数と式」～主に、さまざまな計算の勉強をします。各学年のはじめに学習します。
- 「図形」～平面図形や空間図形のさまざまなことについて学習します。
- 「関数」～比例・反比例、一次関数、 $y=ax^2$ の関数の式・表・グラフ等について学習します。
- 「データの活用」～データの処理・表現・判断方法について学習します。

## 2. 授業の進め方は？

基本的に例題理解→基本問題→応用問題の繰り返しです。

## 3. 持ち物は

教科書・ノート・ワークと定規・コンパスを持ってきましょう。

## 4. 成績がアップするワークの使い方

- (1) はじめは何も見ないでやってみる。やってみて、わからない問題は教科書やノートなどを見てよい。解き終わったら、見直しをすること。
- (2) どうしてもわからない問題は先生に質問する。
- (3) 問題をすべて解き終わったら、解答を開き、自己採点(自分で○付け)し、間違った問題はもう一度やり直す。
- (4) わからなかった問題は、ワークの解答を見て解き方を理解する。
- (5) ワークが宿題になった時は『範囲と提出期日』をきちんとメモする。
- (6) 宿題の提出期日は厳守です！



## 5. 評価について

【資料】『観点別評価』の評価材料

観 点	到達目標の例	評 価 材 料
知識・技能	☆数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ☆事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	☆各種テスト等 ☆教師による観察等
思考・判断・表現	☆数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	☆各種テスト等 ☆教師による観察等
主体的に学習に取り組む態度	☆数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	☆自己評価, 各種テスト ☆発言, 発表 ☆教師による観察 ☆ノート, ワーク ☆宿題, 課題

# 理 学 習 の 手 引 き ( 授 業 編 )

## 1. 学習のすすめ方

- 教科書・ノート・ワークを持ってきましょう。
- 年に数回、自宅からペットボトルや空き缶など、持参してもらうことがあります。実験に使用しますので、協力してください。
- 実験中の事故、特に火気や毒性の強い薬品を使うときには注意が必要です。まず先生の説明をしっかり聞いて、先走らず指示通り実験を進めましょう。

## 2. ワークの使い方

- (1) 答えを見ながらワークに取り組む人は時間の無駄につながる。まずは自力でとき、わからないところは5分考えて、それでもできなかつたら答えを見て覚えるようにしましょう。理科は「考えたこと」が記憶につながるので、常に考える習慣をつけるようにします。
- (2) 単元や章ごとにワークテストをします。解答を覚えてしまうくらいワークを何度もやっておこう。
- (3) 定期テストもワークと同様の問題が出題されることがあるので、テスト直前にもやっておこう。

### 【資料】『観点別評価』の評価材料

観 点	到達目標の例	評 価 材 料
知識・技能	☆自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	☆定期テスト等 ☆教師による観察等 ☆発言、発表等
思考・判断・表現	☆自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	☆定期テスト等 ☆教師による観察等 ☆発言、発表等 ☆ノート、ワーク、宿題、課題等
主体的に学習に取り組む態度	☆自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	☆発言、発表等 ☆教師による観察等 ☆ノート、ワークテスト、宿題、課題等

# 英語科 学習の手引き(授業編)

## 1. 授業の持ち物

○教科書・ノート2冊(授業ノート、練習ノート)・ワークを持ってきましょう。

## 2. 授業の取り組み方

- (1) 忘れ物をしない。(予習、教科書、ノート、ワーク)
- (2) 声に出して読むことを大切に。
- (3) 読む、書く、聞く、話す時間をきちんと区別する。
- (4) 積極的に手を挙げ、発言する。
- (5) 授業ノートは、各レッスンの1つのパートで見開き1ページとする。
- (6) ペアワーク、ペアリーディングは意欲的に行う

## 3. ワークの使い方

- (1) 初めは何も見ないでやる。わからない問題は教科書やノートなどを見てよい。
- (2) それでも分からない時は、答え合わせの際に、解答を見て確認、覚える。
- (3) 問題をすべて解いたら解答を使って答え合わせ。
- (4) 間違えた問題は、文丸ごと練習し、単語や熟語、正しい語順を文のかたまりで覚える。
- (5) 後日、間違えたところだけ解きなおし、再度間違えたら、繰り返し練習。

## 4. その他

- (1) 期末テストに合わせ、ノート提出があります。予習及び本文の書き加えやプリントの記入等、きちんとできているか確認します。日頃から整理して、提出前にあわてないようにしましょう。
- (2) 定期テストに合わせ、ワーク提出があります。テスト範囲のワークの解答、答え合わせを終わらせておきましょう。普段からこつこつ取り組み、提出前にあわてないようにしましょう。  
→ノートとワークの提出は、評価の補助資料として活用します。

### 【資料】『観点別評価』の評価材料

観 点	到 達 目 標 の 例	評 価 材 料
知識・技能	☆言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける	☆単語テスト ☆リスニングテスト ☆各種テスト等
思考・判断・表現	☆具体的な目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながらコミュニケーションを行うことができる	☆ペアワーク ☆グループワーク等 ☆各種テスト等
主体的に学習に取り組む態度	☆知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけるために、自分の学習を調整しながら、学ぶことができる。	☆課題等に取り組む様子 (授業観察) ☆各種テスト等 ☆宿題等



## 音楽科 学習の手引き(授業編)

### 1. 学習のすすめ方

- (1) 教科書・アルトリコーダー・筆記用具（鉛筆を必ず1本準備すること）を用意する。ファイルに楽譜やプリントを保管する。
- (2) 音楽堂で学習するので、座席表に従う。
- (3) 必ず、うがい、手洗いをしてから音楽堂へ入る。

#### 【資料】『観点別評価』の評価材料

観 点	到 達 目 標 の 例	評 価 材 料
知識・技能	☆曲想と音楽の構造や背景などとの関わりや音楽の多様性について理解している。 ☆音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	☆教師による観察等 ☆実技の取り組み状況等 ☆テスト等 ☆ワークシート、レポート等
思考・判断・表現	☆音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、双方の関わりについて考えることができる。 ☆音楽をどう表現するかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	☆教師による観察等 ☆ワークシート、レポート等 ☆実技の取り組み状況等
主体的に学習に取り組む態度	☆音楽活動を楽しみながら、表現や鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組んでいる。	☆教師による観察等 ☆ワークシート、振り返り等 ☆実技に対する取り組み状況等

## 美術科学習の手引き(授業編)

### 1. 学習のすすめ方

- (1) 教科書・鉛筆（Bか2B）・絵の具・彫刻刀を持てきましょう。
- (2) 絵の具などは、指定された棚に収納しましょう。
- (3) 美術室では、指定された席に座りましょう。

#### 【資料】『観点別評価』の評価材料

観 点	到 達 目 標 の 例	評 価 材 料
知識・技能	☆学習内容を理解している。 ☆制作活動で創意工夫し、創造的な表現をしている。	☆教師による観察など ☆作品、ワークシートなど ☆学習への取り組みの様子など
思考・判断・表現	☆造形的なよさや美しさを考えている。 ☆制作の意図に沿って豊かに発想し、構想を深めている。	☆教師による観察等 ☆学習への取り組みの様子など ☆作品・ワークシートなど
主体的に学習に取り組む態度	☆美術の制作活動や鑑賞の学習に積極的に取り組もうとしている。	☆教師による観察など ☆学習への取り組みの様子など ☆ワークシートなど

# 保健体育科 学習の手引き

## 1. 学習の持ち物

- (1) 体育の時はジャージ、Tシャツ、短パン、運動靴、教室の時は保健の教科書、体育実技の本  
柔道着(1・2年)、スキー用具(レンタルも可)(1・2年)

## 2. 持ち物について

- (1) ジャージは、学校指定のものです。
- (2) 短パン(ハーフパンツ)は、運動会や全校体育では学校指定のものを着用します。  
それ以外の授業では部活動で使用しているものがあれば、それを着用してもよいです。
- (3) Tシャツ・運動靴は、運動に適しているものであればよいです。特に指定はありません。
- (4) 「武道」では柔道を行います。柔道着が必ず必要です。学校で斡旋販売もします。
- (5) スキーでは、スキーを持っていない人はレンタルスキーを使って行きます。

## 3. 授業での約束事

- (1) 体育実技の時は、ジャージに着替えます。授業が終わったら制服に着替えます。  
着替えは休み時間内に終わること。(ジャージのままが良い場合は担任から連絡あり)
- (2) 体育のチャイム着席は、着替えを済ませ授業場所(主に体育館かグラウンド)に集合し整列  
をしている状態です。
- (3) 見学する時は、必ず授業前の休み時間のうちに先生に伝えに行くこと。(忘れ物も)その場合  
でもジャージに着替えるのが基本。準備運動や用具の準備や片付けなどできることがあれば  
可能な限り行う。まずはやってみてできないと思ってから見学でもよい。
- (4) 制服のままの実技はできません。ジャージを忘れたら見学です。  
Tシャツ、短パンのみある場合は、Tシャツ、短パンで授業に参加してもらいます。

## 4. 保健体育のねらい

保健体育のねらいは、心と体を鍛えることです。

- ・運動やスポーツには、決まりやルールがあります。それを守ろうとする心を身につけます。
- ・運動やスポーツでは、できた・できない、上手くいった・いかなかった、得意・不得意が、  
目に見えてわかります。それらを受け入れる心を養います。
- ・団体種目でのチームワークと言われる協調性やリーダーシップ・フォロワーシップ、個々の  
役割を果たす責任感などの心を育てます。
- ・様々な運動を通して身体の成長・発育、身体の各器官の発育・発達、基礎体力の向上を促しま  
す。
- ・生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための、心と体、知識と体験・体力を身につけます。
- ・健康で豊かな生活を送るために、生涯にわたって運動に親しむ習慣を身につけます。

### ※注意事項

- ①部活動を除くと、学校生活の中で1番怪我をする可能性の高い時間です。安全の配慮を忘れな  
いことと、先生からの注意事項は守ること。
- ②得意な人もそうでない人も、得意なこともそうでないことも、一生懸命取り組むことが大事で  
す。
- ③始めから上手にできることはありません。だれでも最初は初心者です。まずはやってみること  
です。できないと決めつけやらないと、初心者にもなれません。

【資料】『観点別評価』の評価材料

観 点	到 達 目 標 の 例	評 価 材 料
知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	☆教師による観察等 ☆ワークシート等 ☆テスト等
思考・判断・表現	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	☆実技の取り組み状況等 ☆自己評価シート ☆ワークシート等 ☆テスト等
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	☆実技の取り組み状況等 ☆ワークシート等 ☆振り返りシート

# 技術家庭科 学習の手引き(授業編)

## 1. どのようなことを学ぶのか？

技術…生活や社会の中で、使われているさまざまな技術について知るとともに、ものづくりなどの実習を通して、より理解を深める内容となっています。よりよい作品にしていくためにはどうすればよいか、その試行錯誤そのものが学習の中核となります。今日から役立つ内容もありますので、自分の生活と結びつけながら意欲的に学習してください。

家庭…私たちが毎日行っている生活を、自分で考え、整え、工夫したり、より豊かなものにしていくために学習します。自分にかかわること、家族にかかわること、今の学校生活、家庭生活、将来の家庭生活など、自分を作っていくものに大きくかかわる教科でもあります。知識、心、技能いろいろな面において、一つ一つの活動を通して仲間とともに頑張ってもらいたいと思います。

## 2. 学習のすすめ方

- (1) 技術家庭科は「前・後期制」で学習します。
- (2) 前期は4月から9月、後期は10月から3月を指します。
- (3) 例えば、前期に技術分野を学習したら、後期は家庭分野を学習します。どのような順番で学習するかは、その年によって違います。
- (4) 学習内容によって、普通教室か実習教室（技術室&家庭科室&多目的教室）を使います。教科担当の先生から指示があります。
- (4) 作業を安全に行う。自分自身はもちろん、周りの人にも気を配りましょう。
- (5) 作品は最後まで仕上げ、提出期限を守りましょう。

### 【資料】『観点別評価』の評価材料

観 点	到達目標の例	評価材料
知識・技能	<p>【技術】生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。</p> <p>【家庭】家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。</p>	<p>☆教師による観察等</p> <p>☆作品等</p> <p>☆ノート、ワークシート等</p> <p>☆テスト等</p>
思考・判断・表現	<p>【技術】生活や社会の中から技術に関する問題を見だし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【家庭】これからの生活に向け、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見つけ、解決策を考え、実践したことを評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>☆実習時の取り組み状況等</p> <p>☆自己評価シート</p> <p>☆作品等</p> <p>☆テスト等</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>【技術】よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。</p> <p>【家庭】家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>	<p>☆実習時の取り組み状況等</p> <p>☆ノート、ワークシート等</p> <p>☆振り返りシート</p>